

令和5年度

自己点検・評価および学校関係者評価報告書

令和6年3月

学校法人ミズモト学園
東海歯科衛生士専門学校

1 学校の概況

1. 設置者 学校法人ミズモト学園 理事長 水元久人
2. 学校名 東海歯科衛生士専門学校
3. 校長名 水元久人
4. 専修学校認可 平成17年3月25日
6. 専修学校開校 平成17年4月1日 (旧校名 浜松医療福祉専門学校)
7. 所在地 〒430-0915 静岡県浜松市中央区東田町36-8
(Tel) 053-413-2006
8. 課程 医療専門課程 歯科衛生士学科
9. 学校の沿革

- 1973年 浜松市田町に水元クッキングスクールを開校
- 1977年 浜松市高林に東海調理師専門学校を開校
- 1984年 学校法人ミズモト学園を設立
- 2005年 浜松医療福祉専門学校を浜松市連尺町に開校「介護福祉科」「鍼灸科」を設置
- 2006年 浜松医療福祉専門学校に「歯科衛生士科」を新設
- 2012年 浜松医療福祉専門学校に「こども学科」を新設
- 2015年 東海こども専門学校を開校
- 2021年 浜松医療福祉専門学校「介護福祉科」「鍼灸科」廃科に伴い東田町校舎へ移転
東海歯科衛生士専門学校に改称 現在に至る

10. 建学の精神

心・技・知・友 (健全な心を養い、技術を磨き、知識を広め、友を作ろう)

11. 教育理念

- (1) プロを目指すなら一流を目指せ。

他の人より優れた技術と知識を習得し、研究と努力を喜びとし、己の職業に誇りと生きがいを感じ、心身共に健全な人、
これを一流のプロと言う。

- (2) 人間の能力は、思考と努力で無限に高められる。

人は誰でも計り知れない可能性を持っている。可能と思えば可能になり、不可能と思えば、その瞬間から不可能となる。

12. 教育目的

教育基本法に則り、学校教育法並びに歯科衛生士法に従い、歯科衛生士に必要な知識・技術および医療従事者としての基本姿勢を修得することを目的とする。

13. 教育目標

医療専門職として高い倫理観や責任感を持ち、自ら判断や行動ができる且つ自己を向上する努力を怠らないこと、臨床においては、多職種とのコミュニケーションを図り、誰に対しても自然な配慮ができる歯科衛生士を輩出するために、「最新の施設・設備」「優れた講師陣」「実践重視のカリキュラム」など全てにおいて充実を図り、厳しさの中にも優しさのある教育で、豊かな人間性を備えた一流の歯科衛生士の育成を教育目標とする。

14. 設置学科

歯科衛生士学科(3年 男女 入学定員40名)

15. 学生数 (令和5年4月1日現在) 106名

16. 教職員数 (令和5年4月1日現在) 5名(教員4名 事務職員1名)

17. 学校建物面積 1412㎡

2 本年度定めた重点目標

(1) 教員の指導力向上

①授業の質向上

②学生による授業評価(「総合的に判断して、私はこの授業に満足している」の評価が「4」「3」で80%以上)

(2) 学生募集目標の達成

①オープンキャンパス(OC)の参加者を増やす(目標:60名)

②OC参加者の入学歩留率を上げる(目標:60%)

(3) 学生指導の徹底

①歯科の退学率を5%以下にする

②コミュニケーション能力の向上

(4) 資格合格率100%の達成

①国家試験合格率100%

(5) 就職率100%の達成と進路指導の向上

①就職内定率100%

3 自己点検・自己評価委員会

(1) 委員名簿

① 理事長・校長 水元久人(委員長)

② 副校長 渡邊 美里

③ 専任教員 波多野翔子

④ 専任教員 桑波田美嘉

⑤ 専任教員 鈴木 千鶴

(2) 自己点検・自己評価の委員会開催記録

令和5年4月18日 第1回自己点検・自己評価委員会開催

令和5年9月 6日 第2回自己点検・自己評価委員会開催

令和6年2月21日 第3回自己点検・自己評価委員会開催

令和6年2月22日 自己点検・自己評価の実施

令和6年2月22日 自己評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和6年5月25日 自己評価の設置者への報告(理事会で報告)

令和6年4月 1日 自己評価の公表

4 学校関係者評価委員会

(1) 委員名簿

- ① 太田 一夫 学校法人ミズモト学園 理事
- ② 水野 貴 浜松医療福祉専門学校 元校長
- ③ 鈴木 康仁 社会福祉法人 晃仁会 湖東の杜 理事長
- ④ 池田 沙織 卒業生

(2) 学校関係者評価委員会開催記録

令和5年5月24日 第1回学校関係者評価委員会 学校関係者評価の実施

令和6年3月 7日 第2回学校関係者評価委員会 学校関係者評価の実施

令和6年3月25日 学校関係者評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和6年6月 1日 学校関係者評価の結果及び改善方策の公表

令和5年度

自己点検・評価および学校関係者評価シート

学校法人ミズモト学園
東海歯科衛生士専門学校

5 自己点検・評価および学校関係者評価一覧

(1) 教育理念・目標

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
1	1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	4	学園として建学の精神・理念・育人人材像を学校ホームページや体験入学等で周知し、目的は学則に明記している。学生には学生便覧、入学式、新入生研修で周知している。	4
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	本校の特色を明確にし、学校案内やホームページにも掲載している。またそれに沿った職業教育を実践している。	4
1	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	学園全体また学校としての短期・中期の経営計画を立てて学校運営に取り組んでいる。	4
1	4	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	学生に配布する「学生便覧」に明記し保護者には入学式および学生便覧配付後に保護者にも確認してもらうよう周知している。また、学校案内やホームページにも掲載している。	4
1	5	学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	学校関係者評価委員会での意見や臨床現場からのニーズについて情報収集し、教育内容に反映している。	4
<p>(1) 課題 明確化した職業教育の特色についての周知</p> <p>(2) 改善策 進学担当者およびオープンキャンパス、ガイダンス等で特色についての周知活動を積極的に行う。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(2) 学校運営

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
2	1	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	年度毎に事業計画が作成され、学園会議での協議を経た後、理事会・評議委員会での承認を経て策定される。	4	
2	2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	年度毎に事業計画に沿った運営方針が策定され、年度当初の全体会で全教職員に周知し取り組む体制も整えている。	4	
2	3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	年度当初の学園全体会で学園、学校組織図が発表され職務役割が明確にされている。校務分掌も毎年見直し意思決定、業務共に概ね有効に機能している。	4	
2	4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	法人本部労務において、必要に応じて就業規則を見直し整備している。	4	・非常勤も含めた職場環境を良くすることが、学校のレベルアップに繋がる。(太田委員)
2	5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては、職員会議を経て校長が決定する。財務に関しては、法人本部において経理規程に則って執行される。	4	
2	6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	ハラスメント防止教育を含め、教職員全体に向けてコンプライアンス体制について周知している。	4	
2	7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学校紹介・施設設備・資格取得・就職サポート等の学校情報をホームページ上に公開している。SNSを活用して日常のトピックスも公開し情報発信をしている。	4	
2	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	学籍管理、出欠管理、成績管理、学生募集、求人票の管理において各種ソフトを用いて効率化を図っている。	4	
<p>(1) 課題 質の高い教育の提供には、専任教員の資質向上が必要</p> <p>(2) 改善策 年毎に役割を変え、経験値を上げて行く。教員研修等に積極的に参加する。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(3) 教育活動

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
3	1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育目標に沿ったカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)を策定し、教育課程を編成している。それに基づき教育課程の見直しを行なった。	4	
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき教育課程を編成し、授業科目毎の教育目標や到達目標をシラバスに明記している。	4	
3	3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムポリシーや教育目標に基づき、講義と実習をフィードバックしながら知識・技術・態度の定着につながるよう学年の段階に応じて体系的に編成している。	4	・非常勤を含めた授業評価と改善策の考察が重要。(鈴木委員)
3	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	ライフステージに沿った対応を強化するカリキュラムを実施し、臨地・臨床実習において現場活動での歯科衛生士の役割を学び即戦力となれるよう実践力も工夫している。	4	
3	5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	歯科企業や外部講師等から歯科業界の現状等の情報を受け、カリキュラム作成、見直しの参考にしている。	4	
3	6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次より早期臨床実習を実施し、職業意識の向上を図る。全学年毎、実習目的、目標に合わせた段階的且つ実践的な職業教育を実践している。	4	
3	7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	前後期の年2回、学生による授業評価として授業アンケート教職員で共有し、授業改善や質の向上に取り組んでいる。	4	・授業評価と学生の成績相関分析は継続が必要(太田委員)
3	8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	「学校関係者評価委員会」において教育有識者、歯科業界関係者および卒業生からの助言等を取り入れ、職業教育の改善の参考にしている。	4	

3	9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	本校学則の「実施細則」「試験、補講、成績評価に関する規程」により規定され、「学生便覧」をもって学生及び保護者に周知している。	4	
3	10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	歯科衛生士国家試験合格のためには、1年生から国家試験形式問題を取り入れ、授業まとめノートにより学習習慣の形成を図る。	4	・入学時からの意欲、適性はその後の退学や国試対策でも影響が大きい。(太田委員)
3	11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	歯科衛生士養成の指定基準(養成校設置ガイドライン)に基づき資格や経験年数を満たすとともに、本校の教育目標を具現化できる教員を採用している。	4	
3	12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	豊富な臨床経験および卒業生などの確保に努め、歯科衛生士として向上心を持ち、自己研鑽を積み、教育活動に反映できる指導者育成プログラムを実施している。	4	
3	13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	日本歯科衛生士会の学生会員として学校単位で加入。学生でも参加可能な関係団体による学会や研修会、オンラインセミナー等への積極的参加を促している。	4	
3	14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	学園全体の教職員研修を年1回、資質向上・能力開発等を目的に実施し、新任教員は、学園内および副校長による新任教員研修を実施している。全国教育協議会主催の専任教員研修会も受講している。	4	・職員のスキルアップは不可欠、職場環境をより良くしてください。(太田委員)
<p>(1) 課題 自宅での学習習慣形成不足</p> <p>(2) 改善策 非常勤講師にも協力を求め、授業まとめノートを活用したテストの作成等</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(4) 学修成果

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
4	1	就職率の向上が図られているか	4	就職率は毎年100%を維持している。早い段階から就職セミナーを開催し、就職面談や履歴書等の作成や面接指導は担任や補助教員がきめ細かく行う体制をとっている。	4	・早めに就職セミナーを実施することは良い。 (池田委員)
4	2	資格取得率の向上が図られているか	4	歯科衛生士国家資格取得100%を目標に本校独自の国試対策プログラムにより指導を強化している。3年次において、校内外の模擬試験の点数の推移等の分析により成績低迷者の底上げを図っている。	4	・1年次より動画等を利用して理解を深めて行く方法は良い。学年毎に活用方法を検討すると良い。(鈴木委員)
4	3	退学率の低減が図られているか	3	学生と担任との個人面談を全学年2回/年実施し、学生の個々の状況等を把握するよう努めている。問題がある学生は都度面と保護者との連携を図る体制を整えている。	4	・規律ある生活習慣を目指すと共に個別面談が大切である。(鈴木委員) ・退学率の減少が国試合格率につながる。 (太田委員)
4	4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	来校卒業生や実習先勤務等の現場で活躍している卒業生からの情報提供により把握している。	4	・実習先の卒業生の動向などを把握すると良い (池田委員)
4	5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	新入生研修での卒業生講話や実習先勤務等の現場で活躍している卒業生からの情報提供により、本校での教育効果を把握し、教育活動に活かす取組をしている。	4	・卒業生との交流は重要なので継続すると良い ・卒業生との交流会や卒後研修を期待する。 (太田委員)
<p>(1) 課題 単に就職するのではなく、歯科衛生士としてのキャリアビジョンの形成が在学中より必要</p> <p>(2) 改善策 学年ごとに必要なキャリアビジョン形成プログラムの構築(早期離職の防止と就職後の歯科衛生士としての専門性向上)</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(5) 学生支援

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
5	1	進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	求人票の開示、「就職セミナー」の開催、担任による就職面談、就職斡旋企業等の対応法や就職活動を支援し的確なアドバイスをしている。	4	・条件のみで選択しないよう将来のビジョンを持って就活をするべき（水野委員）
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任制をとっているため学生からの相談は主として担任が応じるが、必要に応じて補助教員や副校長が対応する体制はできている。	4	・学生と教員との関係性は、非常に話しやすい環境だと思われる。（池田委員）
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	日本学生支援機構貸与奨学金・高等教育修学支援制度、ミズモト学園貸与奨学金等制度により、学生の経済的側面に対する支援体制を整備している。	4	
5	4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に健康診断を実施、入学前オリエンテーション等において日常の健康管理についての周知およびワクチン接種等の必要性を説いている。	4	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	学生参加が可能な歯科衛生士会研修会やオンラインセミナー等の説明やボランティア活動の募集等についても積極的に参加を促している。	4	
5	6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	担任が年2回以上、定期的に個人面談をし、学校生活上の悩み等の相談を受け助言を行う。必要に応じて保護者同席の学生指導も行っている。	4	・早期の対応が重要（太田委員）
5	7	保護者と適切に連携しているか	4	学則・教育課程においては入学時に学生便覧において提示すると共に、成績および出席状況や生活全般については学期末に担任より連絡文書を出している。必要に応じて保護者面談も実施し綿密に保護者との連携を図っている。	4	

5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	卒業生の転職支援については、既卒対象の求人票の閲覧や転職サイト等の情報提供を行っている。臨床現場での悩み等の対応については、卒業生に来校を促し、教員全体で対応を行っている。	4	・復職制度がある事を周知してもらえるとありがたい。(鈴木委員)
5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内での職業別ガイダンスへの参加、インターンシップや体験授業の受け入れを実施している。実習科目の公開授業による職業教育についての認知度の向上を図っている。	4	・新校舎を活用した公開授業などが興味深い(水野委員)
<p>(1) 課題 卒業後のスキルアップ研修や復職支援等の卒後支援</p> <p>(2) 改善策 卒後登録システム継続と卒後研修の開催</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(6) 教育環境

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	専修学校設置基準および歯科衛生士養成校ガイドラインの基準を満たし、適切に整備されている。手洗いの増設や定期的な館内清掃等も導入している。	4	
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる教材、器材およびソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。	4	教育機器補助金交付を活用して、最新の各種歯面清掃器を購入した。これにより臨床現場での準備取り扱い等が円滑に行えるようになった。	4	
6	3	教員に対して、学習指導のための研修や教材の利用についての研修を実施しているか	4	新任教員に対して教員としての教育指導研修、学習指導案を活用しての授業構築の研修会の実施。互見授業による授業構築の考察と検討会を開催している。	4	
6	4	学内外の実習施設、インターンシップ、教育研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	1年次より歯科企業セミナーを導入し、最新の歯科材料や情報を学ぶ機会を設ける。臨床実習先との連携を図り、学年により段階を踏んだインターンシップを実施している。	4	・実際の臨床現場での変化を把握し、学校の実習にも取り入れる必要がある。(池田委員)
6	5	防災に対する体制は整備されているか	4	学園の防災マニュアルに基づいて、緊急連絡体制及び緊急対応の体制も整っている。また、校内において防災訓練を年間に1回実施している。	4	
<p>(1) 課題 国家試験内容に画像やレントゲン写真等の事例分析等が出題されるため、授業方略や授業資料および試験内容の検討が必要。</p> <p>(2) 改善策 実習授業の中で学年に応じた画像等の読影や分析の練習を行っていく。より教科書を活用して模式図や画像の特徴を提示していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(7) 学生の受入募集

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	広報年間スケジュールに則り、高校訪問・DM発送・SNSの配信、校外でのガイダンス等を行い、年間を通じてオープンキャンパス等を実施している。	4	・SNSによる学校生活の発信は学校をより身近に感じる上で最適である（太田委員） ・新校舎をアピールしてイメージアップされると良い。（鈴木委員）
7	2	学校案内等には選考方法など求める人物像や入学に必要なが学力、スキルなどの要件が明示されているか	4	学校案内書、入試要項、ホームページにおいて入学資格、選考方法、求める人物像を明示している。	4	
7	3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	国家試験合格率、就職内定率、就職実績などを募集要項やホームページ、オープンキャンパス等でも説明している。	4	
7	4	学納金は妥当なものとなっているか	4	物価高騰により学納金の価格も上昇傾向にあるため、他校の情報も勘案し妥当なものとなるよう配慮している。 奨学金等の学生も多いため、入学後に徴収する金額が極力発生しないようにしている。	4	
<p>(1) 課題 ライバル校と検討した際に決定材料となる特色の周知</p> <p>(2) 改善策 「キャリアビジョン形成」プログラムとして多職種による公開授業の開催、学年に応じた歯科衛生士の専門性の向上につながる授業の実施</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(8) 財務

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目			自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	学園および学校として学科の改編を行い財務基盤の安定を図っている。また経費削減を図る一方で、施設や設備を充実させ入学者の確保につなげる策を講じている。	4	
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画に基づき学校単位で作成され、評議員会を経て理事会にて決定されている。予算執行は予算の権限者により有効性・妥当性を考慮して行われている。	4	
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	私立学校振興助成法に基づく第三者である公認会計士による会計監査を実施しており適正である。	4	
8	4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	私立学校法で情報開示の対象となっている財務諸表は毎年作成しており、令和4年度において財務諸表のWEB上での情報公開の体制を整備した。	4	
<p>(1) 課題 ①安定的な入学者の確保 ②建物の経年に伴う老朽化対策および施設ならびに教育環境の整備に要する支出の増加</p> <p>(2) 改善策 ①広報戦略を職員全員で共有する ②優先順位をつけた教育環境整備の計画を作成し、計画的に整備していく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(9) 法令等の遵守

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	専修学校、歯科衛生士養成施設の設置基準を満たし適正に運営されている。	4
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護ポリシーを定め、その規定に則り諸活動に必要な個人情報を適正に扱っている。	4
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	「自己点検・評価に関する規程」に則り、私立専門学校等評価機構のフォーマットを基準に自己評価する体制が整い実施した。	4
9	4	自己評価結果を公開しているか	4	令和3年度より自己点検・評価書のホームページでの情報公開の体制を整備し、継続中。	4
<p>(1) 課題 整備した情報公開の体制を適切に運用し、また必要に応じてブラッシュアップさせていくことが必要。</p> <p>(2) 改善策 体制の維持と情報や問題等の共有</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(10) 社会貢献・地域貢献

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	R4年度より地域保健活動として臨地実習として保育園実習を取り入れた。これにより園児および職員、保護者の口腔保健の意識向上に取り組めた。	4
10	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	建学祭において口腔衛生管理実習を活用した公開実習を実施した。	4
<p>(1) 課題 地域貢献活動の検討</p> <p>(2) 改善策 建学祭を活用した地域貢献活動(小児の歯科検診等)の実施</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					